

斯うまでして彼溝口は吾々の血を求め我々に最後の掘起を促して居る。又彼等は金があつと云ふ下は暴力團を雇ひ入北常に淫酒に耽つてゐる。其の事實を突込めば「會社不いつの金を使はうと職工の手法をいふか」と頭から飛ばした。何たる暴言ぞや!!

吾々には「やり切れぬ」といふ下は組合打つぶしの事實を明かに物語して居る。そして又會社の大職工には解雇通知を出さぬといふことも政策的な工場解散を直書きするものではあつかひ。

飽くまで侮辱し、暴力團による圧迫を加へて来る以上我々も対抗の外はない。五十名の餓死を放任する溝口のオヤジの社會的罪惡を社會の輿論に訴へ、町民をオビヤカシ我々に死を迫る溝口は高政を徹底的に葬らうとするものであらう。

町民諸君! 町民を攪乱する者を葬れ。溝口メリヤス争議團

15.12.23
700

寫

秘第三。九四號

大正十五年十二月二十一日

警視總監 太田 政雄

内務大臣 濱口雄幸殿
 社會局長官 長岡隆一郎殿
 京都 大阪 神奈川
 兵庫 愛知 福岡 各府縣知事 殿

溝口メリヤス工場労働争議ニ関スル件

一交渉經過 (第五報)

工場側ニ於テハ其ノ後職工側ト交渉ヲ日本橋區新大